

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果報告書
(令和4年度分)

令和5年9月

豊山町教育委員会

目 次

第1部 点検・評価制度の概要	1
1 経緯	
2 点検・評価の対象	
3 点検・評価の方法	
第2部 教育委員会の活動状況の点検・評価	2
1 教育委員会会議の開催と審議状況	
2 教育委員の活動状況	
第3部 主要施策と事業の自己点検・自己評価	3
柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育	3
柱2 つながれた学校・家庭・地域	10
柱3 学びを支える教育環境	14
柱4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ	18
第4部 学識経験者による評価	22

第1部 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、地教行法に基づいた教育行政の点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書を作成し、公表することとする。

（参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄））

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

令和4年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

3 点検・評価の方法

本町教育委員会は、令和4年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を、「必要性」「有効性」「効率性」「達成度」の4観点から下記の評価基準によって自己点検・自己評価を行い、報告書にまとめ、令和5年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

（評価基準）

評価記号	基準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

第2部 教育委員会の活動状況の点検・評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況

【実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）開催した。教育委員会会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、議案20件（昨年度20件）、代決処理0件（昨年度0件）を審議・可決したほか、50件（昨年度62件）の報告を受けた。

詳細については、町のホームページで公開している。

【評価と課題・改善策】

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、教育委員と事務局、教育委員と校長との意見交換を積極的に行った。

【総合評価】

上記の状況を踏まえ、総合評価はAとした。

2 教育委員の活動状況

【実施状況と成果】

教育委員は、教育委員会会議のほかに、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。

ア 総合教育会議 1回（昨年度1回）

イ 学校訪問（1日訪問） 0校（昨年度0校）

ウ 町教育委員会学校訪問 0校（昨年度0校）※感染拡大予防のため実施せず

エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換）1回（昨年度2回）

オ 入学式、運動会、体育大会等 0校（昨年度0校）※感染拡大予防のため参加せず

カ 愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度1回）※R3は書面開催

キ 愛知地方教育事務協議会会議 6回（昨年度6回）

ク 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）※R3は書面開催

ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 1回（昨年度0回）

【評価と課題・改善策】

令和3年度は感染拡大予防のため、参加を控えたり、書面開催や開催中止となったりしたが、令和4年度は少しずつ対面で開催できるようになった。教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との調整・意見交換等を行い、幅広い視野から教育の在り方を検討した。

【総合評価】

上記の状況を踏まえ、総合評価はAとした。

第3部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

子どもが自発的に課題に取り組み、活発に意見を交わしながら学ぶことを通して、子どもの成長を支える。

◆新たな学びへの取組の推進◆

新しい学習指導要領に対応した、未来の創り手となる資質・能力を育む。	総合 評価	A
-----------------------------------	----------	---

事業内容 1	情報教育の推進	評価	S
実施状況	<p>① ICT機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】ICT機器の効果的な活用の現職教育の方針への取入 ICT機器を取入れた授業の質の向上 デジタル教科書やタブレット、書画カメラの活用 効果的で分かりやすい教材提示の工夫 <p>② 情報モラル教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】「携帯・スマホ安全教室」の開催 町作成保護者向けリーフレット「ネットの危険から子どもを守るために！」の活用 ・【豊山小】特別の教科 道徳や総合的な学習の時間、学級活動等で、情報モラルとその実践力を育成 ・【新栄小】【志水小】「情報モラル教室」の開催（3～6年） ・【豊山中】技術科を核とした適切な情報活用能力の育成 <p>③ プログラミング教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】算数科、理科でプログラミングアプリを活用 ・【新栄小】各学年でのプログラミング教育の実施 ・【志水小】全学年、国語・算数・理科等でアプリを活用 ・【豊山中】技術科の授業において実施（「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」「計測・制御のプログラミングによる問題の解決」） <p>④ オンラインでの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】北海道せたな町北檜山小学校4年生とWeb会議ツールを用いて交流 それぞれの町や学校の特色を発表（★令和4年度新規事業） 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の積極的な活用によって、児童生徒に基本的な知識・技能の定着を図ることができた。 ○ 1人1台タブレットの配備がされて2年が経過し、授業での活用が定着してきた。今後はさらなる効果的な活用方法を模索していく必要がある。 ○ 情報モラルの育成は近年の社会情勢を踏まえると喫緊の課題であり、かつ、 		

	情報社会において必要不可欠であるため、ICT機器の活用推進と併せて取り組むよう努める。
--	---

事業内容 2	外国語教育・国際交流の推進	評価	A
実施状況	<p>①外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置（中学校に1名、3小学校に2名） ・全小学校への外国語科専科教員の配置（3小学校に2名） <p>②国際交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国グラント郡との学生と本町中学生とのオンラインによる交流事業の実施（年3回） *豊山中学校生徒8名が参加 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での外国語教科化を受け、外国語科専科教員を配置し、ALTとのTTを実施することで、外国語教育の充実が図れている。また、休み時間や給食、清掃活動に児童生徒とともにALTが活動することで、授業以外の場面でも外国語や外国の文化に触れることができ、国際感覚豊かな児童生徒の育成の一助となっている。 ○ 小学校の外国語、外国語活動の授業でALTが配置されていない曜日があるので、外国語専科教員が配置されている日すべてにALTを配置することで、授業がさらに充実すると考える。 ○ 米国グラント郡の学生とのオンラインによる交流事業を実施することで、外国の文化や言語に触れる機会が増え、国際理解教育の充実が図れている。 		

事業内容 3	道徳教育の推進	評価	A
実施状況	<p>①挨拶・ふれあいでの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流 <p>②読み聞かせの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小学校】PTAや地域ボランティアの読み聞かせによる豊かな心の育成 <p>③地域（学校）支援ボランティアによる交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・【新栄小】大山川水生生物の授業 ・【志水小】学校図書室整備活動、見守り活動お礼の会、「子ども110番の家」の方へのお礼訪問 ・【豊山中】新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 <p>④「特別の教科 道徳」の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自我関与させる発問の工夫 ・評価方法に関する検討の実施 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの地域（学校）支援ボランティアとの交流・ふれあいが、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後も進めていく。 ○ 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育をより充実させることで、よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成に努める。 		

事業内容 4	教員の資質向上	評価	A
実施状況	<p>①校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】確かな学力を身に付けた児童の育成 <ul style="list-style-type: none"> －主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して－ ・【新栄小】対話的な学びから深い学びへの実現に向けた授業改善（2年目） ・【志水小】主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指して <ul style="list-style-type: none"> ～思考・表現ツールとしてのタブレット端末の活用を通して～ ・【豊山中】主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> －評価方法の工夫とICT機器を効果的に活用した授業実践を通して－ <p>②豊山町夏季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のための研究協議会の実施「明日からできる全員参加型授業」（町内全教員参加 講師：名古屋芸術大学教育学部 准教授 土井 謙次氏） <p>③不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰・暴言、セクハラ・わいせつ、情報漏洩、交通事故・違反の防止 ・不祥事根絶に向けた小グループでの話し合いの取組 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校において現職教育の研究テーマをもとにタブレット端末活用方法検討会や月1度の授業研究など校内研修を充実させ、授業力が向上した。 ○ 新学習指導要領の趣旨を取入れた適正な評価を行うための指導方法を研修し、教員の力量向上の一助となった。 ○ ICT機器の活用など、指導方法が児童生徒に有効に働くよう、さらなる研修と検証に努める。 ○ 若手教員の急増により、どの学校も若手教員とミドルリーダーの育成にOJTを取入れた研修を充実させた。不祥事防止に向けた研修にも力を入れて取り組んでいる。 		

◆きめ細やかな教育の充実◆

一人ひとりの個性や成長に応じた教育を推進し、子どもの支援体制の充実を図る。	総合評価	S
---------------------------------------	------	---

事業内容 5	少人数指導、ティームティーチングの推進	評価	A
実施状況	<p>町講師の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】町採用非常勤講師 14名（豊山小学校3名・新栄小学校3名・志水小学校5名・豊山中学校3名・適応指導教室2名） ・町立小中学校非常勤講師等研修会の開催（年4回） <p>教員としての心構えの講話や、研究テーマを基にした実践報告書の作成、授業研究協議会の開催</p>		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町講師対象の研修会は、実践的内容であり、若手教員の育成に効果的であった。また、異校種・他校での授業研究協議会を実施することで、児童生徒理解の一助となった。 		

事業内容 6	特別支援教育の推進	評価	S												
実施状況	<p>①特別支援学級の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>豊山小学校</td> <td>5学級（知的・自情・病弱・難聴）</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>新栄小学校</td> <td>2学級（知的・自情）</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>志水小学校</td> <td>2学級（知的・自情）</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>豊山中学校</td> <td>4学級（知的・自情・肢体）</td> <td>16名</td> </tr> </table> <p>②町職員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員 4名 （豊山小学校 2名、新栄小学校1名、志水小学校 1名） <p>③通級指導教員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 通級指導教員 2名 （豊山小学校・豊山中学校 1名、新栄小学校・志水小学校 1名） 中学校に通級指導教室を設置（★令和4年度新規設置） 			豊山小学校	5学級（知的・自情・病弱・難聴）	17名	新栄小学校	2学級（知的・自情）	13名	志水小学校	2学級（知的・自情）	12名	豊山中学校	4学級（知的・自情・肢体）	16名
豊山小学校	5学級（知的・自情・病弱・難聴）	17名													
新栄小学校	2学級（知的・自情）	13名													
志水小学校	2学級（知的・自情）	12名													
豊山中学校	4学級（知的・自情・肢体）	16名													
評価と改善策	<p>○ 特別支援学級在籍の児童生徒は、年々増加傾向にある。また、普通学級に在籍する児童生徒であっても、特別な支援を必要とする児童生徒は増えているため、誰もが同じように学べる教育環境・支援の整備に努める。</p> <p>○ 中学校にも新たに通級指導教室を設置することにより、特別な支援を必要とする生徒に適切な支援を行えるようになった。</p>														

事業内容 7	教育相談・生徒指導体制の充実	評価	S
実施状況	<p>①学校いじめ防止基本方針の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こり得る」ことの共通認識 いじめ不登校対策委員会の開催（毎月1回） <p>②教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 学期に1度の教育相談の実施 → 児童生徒の実態を把握することにより、不登校・問題行動の未然防止や、問題の早期発見・早期解決に努める。 「いじめに関するアンケート調査（3回・無記名式）」の実施 児童生徒の心の居場所となる学級・学校づくり 児童生徒や保護者との信頼関係の構築 <p>③学校関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 町教育委員会・町生活福祉部・町保健センター・町適応指導教室「しいのき」・愛知県中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、問題行動等の未然・再発防止、早期発見と解決への取組 スクールソーシャルワーカーの配置による町生活福祉部との連携の強化 町いじめ問題対策連絡協議会の開催 → 町立小中学校の教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、中央児童・障害者相談センター職員、西枇杷島警察署署員、人権擁護委員、町生活福祉部職員によるいじめ防止に関する連携強化 町いじめ問題等対策委員会の開催 → 小学校生徒指導主任、中学校生徒指導主事、スクールソーシャルワーカー、 		

	<p>スクールカウンセラー、適応指導教室指導責任者、県家庭教育コーディネーター、担当校校長・教頭、町教委の参加による情報交換と指導 → スクールカウンセラーによるミニ研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けリーフレットの効果的な活用 「ネットの危険から子どもを守るために！」を配付 ・「携帯・スマホ安全教室」や「情報モラル教室」の開催 ・人権集会の実施 <p>④適応指導教室「しいのき」の取組（中学生7名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立に向けた支援や学習支援
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを許さない全校体制での取組の結果、継続した悪質ないじめはない。しかし、年間30日以上長期欠席の不登校児童生徒は、依然多い状況にあるため、相談体制のさらなる充実に努める。 ○ 学級担任以外との教育相談の機会を設定し、学校全体で情報共有することで、児童生徒を見守る体制を構築した。 ○ スクールソーシャルワーカーの配置により、町生活福祉部との連携が強化され、児童生徒を取り巻く様々な環境に働きかけて支援を行った。 ○ スクールカウンセラーによるミニ研修を実施することで、悩みを抱える児童生徒に対してより細やかな支援ができるように教員の力量向上に取り組んだ。 ○ 町適応指導教室においては、フィールドワークや創作活動、手芸工作、スポーツなど、児童生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画されており、児童生徒が安心できる心の居場所としての大きな役割を果たしている。 ○ 警察や児童相談センターとの連携をさらに密にし、問題行動の防止や早期発見への取組を継続していく。 ○ 関係機関との連携のもと、全小中学校で落ち着いた学校生活が展開された。

事業内容 8	健やかな児童生徒の育成	評価	A
実施状況	<p>①年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習 <p>②各校での学校保健活動の取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】学校保健委員会の開催、「早寝早起き朝ごはん」運動、むし歯予防「フッ化物洗口」（新栄小学校は未実施）、とよやま健康マイレージへの参加、「生活チェックカード」の活用など ・【豊山小】全国歯みがき大会に参加（5年生）、すこやか集会（2回） ・【新栄小】「メディアチェックカード」の活用 ・【志水小】学校保健委員会「食育Goo」（1～3年生） ・【豊山中】思春期教室（2・3年生） <p>③安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】警察OBによる薬物乱用防止教室（6年生） 西枇杷島警察署員による交通安全教室（3年生） ・【新栄小】交通安全教室（3年生）、警察OBによる薬物乱用防止教室（6年生） ・【志水小】自転車教室（3年生）、警察OBによる薬物乱用防止教室（6年生） 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】保護司による薬物乱用防止教室（2年生） <p>④通学路点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全プログラムに基づいた尾張建設事務所、西枇杷島警察署及び関係機関による通学路点検（通学路のカラー塗装などの要望）の実施
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体による年間を見通した計画的な実践により、児童生徒の健全育成が図られた。 ○ 通学路点検及び自転車教室などの交通安全指導により、交通安全体制の充実を図り、児童生徒の大きな交通事故も発生していない。不審者対応など、通学路のさらなる安全に努める。

事業内容 9	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	A
実施状況	<p>①体力づくりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】なわとび集会への積極的な取組 ・【新栄小】一輪車・なわとび運動への積極的な取組 ・【志水小】なわとび運動・志水っ子ランニング <p>②部活動での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山中学校の支所大会・愛日大会・県大会の主な結果 ＜支所大会＞サッカー部優勝・男子バレーボール部優勝・女子卓球部優勝 野球部2位・女子バレーボール部3位・ソフトボール部3位 ＜愛日大会＞女子卓球部2位・野球部3位 <p>③部活動振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】外部指導員による部活動支援（野球部） <p>④「部活動指導ガイドライン」の策定（平成30年10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の総合的指導方針として策定 <p>⑤体験スポーツ事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】友好交流都市提携を結んでいる阿智村における中学1年生を対象とした本町独自の事業である体験スポーツ事業（トレッキング）の実施 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ なわとびカード、ランニングカードを活用するなどの工夫により、積極的に運動に親しむ児童が増えた。 ○ 限られた活動時間の中でも、効果的に練習し、各種大会で成果を上げている。 ○ 部活動指導ガイドラインにより、全小中学校が同一歩調で活動方針を打ち出すことができた。 ○ 外部指導者の拡充に向け、部活指導の意義や指導方法と指導方針について学校との共通理解に努める。 		

事業内容 10	就学援助の充実	評価	A
実施状況	<p>①就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度に基づいた援助の実施 ・経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担軽減 <p>②教育振興事業による援助（全児童生徒）</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の副読本、夏休みの日誌、冬休みの日誌、知能検査、学力検査（CRT） ③ 準要保護者への就学援助費・奨励費の支給 ・ 学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・修学旅行費・学校給食費の支給 ・ 就学予定者への新入学学用品費前倒し支給の実施（平成30年12月から）
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学援助を必要とする保護者に、就学援助制度の周知を積極的に図り、経済的な援助を行うことで、適正な就学援助を充実させることができた。

柱2 つながれた学校・家庭・地域

学校と家庭、地域が一体となって子育てや家庭教育の支援を行う。

◆家庭への支援◆

子育て支援を充実させ、安心して子どもを育てられる環境を整える。	総合 評価	S
---------------------------------	----------	---

事業内容 11	家庭の教育力向上への支援	評価	A
実施状況	<p>①家族ふれあい事業<『豊山町の生涯学習・令和4年度のまとめ』(以下『まとめ』) P24~25参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児学級事業 <ul style="list-style-type: none"> 「親と子をつなぐお話の世界」参加者3組7人 「おもちゃの効果と選び方」参加者2組4人 「手作りおもちゃで遊ぶ子育て時間の楽しみ方」参加者5組9人 ・家族ふれあい講座 <ul style="list-style-type: none"> 「親子ドローン教室」参加者9組18人 ・家族芸術劇場 <ul style="list-style-type: none"> 「劇団うりんこ きみがしらないひみつの三人」2回 参加者合計180名 ・家族ふれあいコンサート <ul style="list-style-type: none"> 「ぴよぴよコンサート」3回 参加者合計30組64人 <p>②家庭教育講演会事業<『まとめ』 P25参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> 演題「青少年のネット安全・安心講座」 講師 ネットモラル塾講師 杉本 友美 氏 参加者 27人 ・家庭教育相談 <ul style="list-style-type: none"> 年12回開催 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児学級は、子育てに役立つ講演会を行い、若い母親たちに家庭教育の重要性を訴えることができた。ただし、年々参加者が減っているため、周知方法について検討が必要である。 ○ 家族ふれあいコンサートは、お子さんと保護者が一緒になって楽しめるミニコンサートを提供し、子育て中の母親のリフレッシュ、子どもたちの情操発達の醸成を図った。 ○ 家族芸術劇場など、各種ガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策を講じながら開催した。 ○ 家庭教育講演会事業は家庭教育の重要性の普及、啓発を図るため、小中学校の児童・生徒を持つ保護者を対象に、家庭・地域での教育力向上を啓発し、その実践を促進する講演会、相談事業を開催した。 令和4年度は、愛知県民文化局県民生活部社会活動推進課の事業である「青少年のネット・安心講座～みんなのネットモラル塾～」を活用し、保護 		

	<p>者と子どもが正しい情報モラルを身に付けることのできる内容で、ネットモラル塾の杉本友美氏に講義してもらった。</p> <p>今後は、事務局が想定した「本当に講演を聞いてほしい層」に参加してもらうための方法を考える必要がある。</p>
--	--

事業内容 12	地域の教育力向上への支援	評価	S
実施状況	<p>①総合型地域スポーツ・文化クラブ（わくわくくらぶ）＜『まとめ』P46～47参照＞</p> <p>子どもと保護者や家族・地域の大人たちが参加できる多世代参加型事業を実施した。地域ボランティアによる指導者のもと、陶芸・将棋・バウンドテニスなど15種のスポーツや文化のクラブを開設した。</p> <p>児童や保護者併せて180名参加した。</p>		
評価と改善策	<p>○ 令和4年度から「ふれあいひろば」の名称をより親しみやすくするため「わくわくくらぶ」に変更した。</p> <p>また、子どもの居場所を一層確保するため新たに「バスケットボール」と「吹奏楽」の2種目の追加を検討し、三菱重工名古屋のバスケットボールチーム及び豊山ウインドオーケストラの協力により開設ができた。</p> <p>今後も新たに子どもたちのニーズの把握に努め、新たな種目の追加について考えていく必要がある。</p>		

◆地域の活動の推進◆

スポーツやボランティア活動を通して、地域で子どもを見守り、健全な育成を支援する。	総合評価	S
--	------	---

事業内容 13	子どもの豊かな心を育む活動支援	評価	S
実施状況	<p>①青少年育成団体活動費助成事業＜『まとめ』P26～29参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団 <p>スポーツ少年団の登録人数 空手20人、卓球16人、バレーボール35人、野球70人、サッカー54人、剣道7人 合計202人</p> <p>②青少年生活指導事業 ＜『まとめ』P30～32参照＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏季・冬季） 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動 ・青少年育成会議の開催（1回・書面開催） 青少年育成活動事業計画等について ・青少年育成巡回指導事業 夏季（4回）延べ19人、冬季（2回）延べ3人参加 		
評価と改善策	<p>○ 青少年育成団体活動費助成事業は、青少年健全育成の推進を目的に活動しているスポーツ少年団に対して活動費の助成を行った。また、補助金の趣旨に基づき適正に執行されるよう指導した。</p> <p>今後も引き続き支援するとともに、事業費補助金として、明確な用途のもと適切に執行されているか検証する必要がある。</p>		

	<p>○ 青少年生活指導事業は、青少年育成会議によるアピタ名古屋空港店、ヨシヅヤ豊山テラスでの合同街頭指導や町内の巡回指導がほぼ定着・浸透してきている。巡回指導では子どもたちが集まりそうな神明公園、コンビニ、などを中心に巡回することにより非行防止の効果があつた。</p> <p>令和4年度は、民法の改正に伴い令和4年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことによる契約トラブルを未然に防ぐため、啓発チラシ入りのティッシュを配布し、注意喚起を行った。</p> <p>また、今後は、既存の方法を維持しつつも、青少年の健全育成により効果的な方法を模索する必要があり、会議を通じて議論していく。</p>
--	---

◆地域を生かした教育◆

地域の財産や人材を学校に取り入れ、子どもの学びを広げる。	総合 評価	A
------------------------------	----------	---

事業内容 14	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
実施状況	<p>①学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の外部アンケート分析を含めた自己評価の実施 ・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会の開催（各校2回） <p>②地域住民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小学校】「民生・児童委員と小学校との懇談会」での情報交換と交流 運動参観への保護者の参観 ・【豊山小】学校行事（学校公開等）への保護者の参観、読み聞かせへの保護者や地域ボランティアの参加 ・【新栄小】学校行事（学校公開等）への保護者の参観、資源回収への保護者・地域ボランティアの参加 ・【志水小】保護者や地域のゲストティーチャーによる出前講座の積極的活用 読み聞かせや図書館環境整備への保護者・地域ボランティアの参加 ・【豊山中】「民生・児童委員と中学校との懇談会」での情報交換と交流 <p>③通学路点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全プログラムによる、尾張建設事務所、西枇杷島警察署及び関係機関による通学路点検（通学路のカラー塗装などの要望） 		
評価と改善策	<p>○ 学校関係者評価委員会の意見を取り入れ、保護者を講師としたキャリア教育を実施するなど、地域に開かれた学校運営を推進した。</p> <p>○ 新型コロナウイルスの感染拡大予防対策を講じ、地域住民参画の推進を図った。</p> <p>○ 通学路点検及び交通安全指導により、交通安全体制の充実を図り、児童生徒の大きな交通事故も発生していない。不審者対応や災害時の対応など、更なる安全対策に努める。</p>		

事業内容 15	特色ある学校教育の推進	評価	A
実施状況	<p>①地域等との連携による教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】福祉実践教室（5年） ・【新栄小】運動会ダンス指導（1～4年）、大山川水生生物の授業（5年）、いろはに邦楽（6年）、声楽家による歌唱指導（全学年） ・【志水小】福祉実践教室（4・6年生）、アルミ缶・エコキャップ回収活動、「（保護者による）教えてもらおう 仕事のあれこれ」（5・6年）、琴教室（6年） ・【豊山中】友好交流都市提携を結んでいる阿智村における中学1年生を対象とした本町独自の事業である体験スポーツ事業（トレッキング）の実施 		
評価と改善策	<p>○ 地元の特色や財産を十分に活用して教育活動を進めた。今後、航空産業の町である特色を生かした取組や、国際交流を取り入れた取組、自然愛護の取組をさらに進める。</p>		

事業内容 16	地域人材を生かしたキャリア教育	評価	B
実施状況	<p>①キャリア教育に関わる出前講座の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【志水小】（保護者による）教えてもらおう 仕事のあれこれ（5・6年生） <p>②職場体験学習・進路学習の実施【豊山中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大を受け、民間企業の受け入れ先を見つけることが困難であったため、職場体験学習の実施を見送った。 ・高等学校17校への「上級学校（高校）訪問」についても、感染拡大予防のため、実施を見送った。 		
評価と改善策	<p>○ 中学校での職場体験学習は感染拡大予防により実施できなかったが、小学校での出前講座や中学校での進路学習等を通して、職業観を育成するキャリア教育を推進した。特に、空港についての学習は、地元豊山町の将来を見据えた大切なキャリア教育教材であり、今後も推進するよう努める。</p> <p>○ 今後も、地域の人材や施設を積極的に活用し、専門的な知識をもっている社会人や職業人の外部講師から直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の育成を進めるよう努める。</p>		

柱3 学びを支える教育環境

安心して学びに向かうことのできる環境を整備し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる機会を提供する。

◆安全・安心な学校◆

児童生徒がのびのびと学習し、力が発揮できる環境を整備する。	総合 評価	S
-------------------------------	----------	---

事業内容 17	学校給食・食育の充実	評価	A
実施状況	<p>①新給食センターの適正な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立委員会の開催 ・ 給食センターの業務や献立についての調査研究と審議 <p>②食物アレルギーへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【全小中学校】食物アレルギー児童生徒の保護者との面談（4月） エピペン研修会（対処法）への参加 ・ 【給食センター】衛生研修会（年1回開催・対象者：配膳員） ・ 令和2年度に策定した「豊山町立小中学校 学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、アレルギー対応を行った。 ・ 令和3年度から、乳と卵のアレルギー除去食の提供を開始した。 <p>③食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【全小学校】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「魚のさばき方教室」を中止した。 ・ 【豊山小】栄養教諭による食に関する指導（全学年） ・ 【新栄小】栄養教諭による食に関する指導（4年生） ・ 【志水小】学校保健委員会「食育Goo」（1～3年生） 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギー対応マニュアルに基づき、適切にアレルギー対応を行えている。 ○ 食物アレルギーの対応については、エピペン所持の児童生徒が年々増えてきており、給食センター・学校と協力して事故のないよう細心の注意を払っている。 ○ 令和3年度から、乳・卵の除去食の提供が開始されており、給食センターと学校、教育委員会との連携を密にし、対応している。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策をした上で、地域の特色を活用した取組を増やし、食育の充実を図る必要がある。 		

事業内容 18	学習環境の整備拡充	評価	S
実施状況	<p>①豊山中学校改築整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校施設整備基本構想会議を6月29日に開催し、豊山中学校の改築整備に係る「目指すべき中学校のあり方」について検討・協議を行い、最終まとめを8 		

	<p>月に公表した。</p> <p>②施設・設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】トイレ改修、受水槽ポンプ取替 ・【新栄小】浄化槽改修、校舎・体育館外壁補修、体育館渡り廊下補修、校舎ベランダ手すり塗装、プールろ過機制御盤取替 ・【志水小】高木剪定、防水塗装、受水槽ボルト取替、放送機器取替 ・【豊山中】防水塗装、鉄棒撤去
評価と改善策	<p>○ 豊山小学校において、校舎及び講堂等全てのトイレ改修工事により、便器の洋式化、床の乾式化、バリアフリートイレの設置等、清潔で快適な学校環境の整備を進めた。今後は新栄小学校、志水小学校においても、トイレ改修工事を進めていく。</p> <p>○ 各校とも校舎及び設備の老朽化が進行しているため、豊山町学校施設改築・長寿命化計画に基づき、整備・改善に取り組んでいく。</p>

事業内容 19	教員の働き方改革の推進	評価	S
実施状況	<p>①会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】校務支援システム（C4th）活用の推進、ペーパーレス（会議資料の電子化）の導入、企画委員会や朝の打合せの廃止・精選、ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の実施、定時退校日の設定、口座振替による学年費等の徴収、留守番電話の導入、打合せ・会議の精選、保護者用スマホアプリからの欠席連絡（★令和4年度から導入） ・【全小学校】勤務開始時間・終了時間等の見直し ・【豊山小】ICTを活用した授業の展開、部活動なし期間の設定、学校行事の見直し、退勤予定時刻板（かえるボード）の活用 ・【新栄小】学校行事の見直し ・【志水小】部活動終了時刻・活動日の見直し、部活動なし期間の設定、学校行事の見直し、退勤予定時刻板（かえるボード）の活用 ・【豊山中】部活無しデーの設定 <p>②学校事務の共同実施の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム（C4th）活用による事務処理の効率化・適正化 ・豊山町共同学校事務室としての事務処理 ・事務職員のOJTの推進 		
評価と改善策	<p>○ 国や県の働き方改革の方針のもとに、教職員の多忙化解消のため、「会議の持ち方（回数・資料の削減）の改善」「定時退校日の設定」「部活動の休養日の設定」など、教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを推進している。</p> <p>○ 学校への欠席連絡を保護者用スマホアプリから行うことが可能になり、朝の電話対応が減り、児童生徒と向き合う時間の確保につながっている。</p> <p>○ 令和4年度をもって小学校の部活動については廃止となったことにより、小学校教員の負担軽減が見込まれる。</p> <p>○ 共同学校事務室により校務の効率化を推進し、教職員の負担軽減に努める。</p>		

◆充実した学びの場◆

学習講座・教室の充実とだれにも優しい社会教育施設の整備・充実を図る。	総合 評価	A
------------------------------------	----------	---

事業内容 20	学ぶ機会の充実	評価	A
実施状況	<p>①学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業<『まとめ』P9～10参照> 生涯学習推進審議会を8月と3月、2回開催し、「部活動の地域移行」について、十分な議論を重ねた。 生涯学習情報誌「生きがいタウン」を4月と9月の2回（各3,500部）発行して、生涯学習課のほか、社会教育センターや学習等供用施設等の公共施設並びに町内のショッピングセンター及びコンビニエンスストアに配置し、生涯学習情報を必要とする方に配布した。</p> <p>②生涯学習関係団体・機関との連携による講座の開設事業<『まとめ』P10～16参照> ・生涯学習講座の開催 「自己の向上に関するもの」 豊寿大学、ローラさんのやさしい英会話、パソコン講座、LINE講座 他 「生活の向上に関するもの」 観葉植物の苔玉づくり、ハンギングバスケット教室、多肉植物の楽しい寄せ植え 他</p>		
評価と改善策	<p>○ 学習ニーズに対応した学習プログラムの提供事業は、生涯学習推進審議会において、町長からの諮問事項である「部活動の地域移行」について十分な議論を重ねた。その他、令和5年度の生涯学習のまちづくり実施計画及び令和4年度の進捗状況などについて提案し、意見を求めた。引き続き、豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画に基づく、生涯学習の推進に係る施策について意見を求めていく。 また、生涯学習情報誌「生きがいタウン」を作成し、4月と9月の年2回発行した。</p> <p>○ 生涯学習関係団体・機関との連携による講座の開設事業は、前期9講座、後期7講座の計16講座を計画し、新型コロナウイルスの感染対策をしつつ予定通り前期9講座、後期7講座の計16講座を開催することができた。 開催した講座は良好な状況であった。 住民ニーズの把握に努めるとともに、受講率の低い講座については新しいものと入れ替えるなど、町民が参加しやすい場の提供に努める必要がある。</p>		

事業内容 21	社会教育施設の整備・充実	評価	A
実施状況	<p>①社会教育センター管理一般事業<『まとめ』P17参照> ・社会教育センター施設の運営（利用受付・許可、使用料徴収）、施設設備の維持管理 ・豊山グラウンド、志水テニスコート等のスポーツ施設の運営（利用受付・許可、使用料徴収）及び学校体育施設開放事業の運営（団体登録、利用受付・許可、使用料徴収）</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の休暇村（利用助成券の申込受付・交付） ・社会教育センターの利用状況（アリーナ・ホール・研修室など） 年2,987件利用【前年比397件増】※個人利用も含める 開館日数308日 1日平均約10件 ②学習等供用施設維持管理事業＜『まとめ』P22～23参照＞ ・東部、新栄、富士の3か所の学習等供用施設の施設維持管理及び運営を一括して地方自治法第244条の2第3項に基づく指定管理者制度により実施した。 ・学習等供用施設の利用状況（東部・新栄・富士の3施設） 年3,985件利用【前年比102件増】 開館日数359日 1日平均約11件
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育センター管理一般事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、事業を継続した。 今後も、生涯学習拠点施設として利用者が安心、安全に利用できるよう施設の維持管理に努め、効率的な施設運営を継続する。 ○ 社会教育センターの長寿命化計画に基づく改修事業は、令和4年度は町制施行50周年の記念式典を始めとしたさまざまな記念事業での社会教育センター利用への影響を考慮し、改修工事を実施しなかった。 次年度以降は、利用者が長期間安全、快適に利用できるように計画的に改修工事を進めていく。 ○ 学習等供用施設維持管理事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、事業を継続した。 今後も、生涯学習拠点施設として利用者が安心、安全に利用できるよう施設の維持管理に努め、効率的な施設運営を継続する。

事業内容 22	読書活動の推進	評価	A
実施状況	図書室整備運営事業＜『まとめ』P18～22参照＞ <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育センター図書室の利用状況 開館日数：年286日【前年比15日増】 貸出冊数：年合計36,957冊【前年比2,246冊減】 ・豊山町子ども読書活動推進計画の実践 ・豊山町子ども読書活動推進委員会（3回実施）の開催 利用者カード申請書の配布（新2年児童）、読書活動の情報交換 ・親子読書会（例年4回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ・紙芝居・大型紙芝居など 参加者合計54人 ・おはなし会（月1回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本読み聞かせ・紙芝居・工作など 参加者合計78人 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書室整備運営事業は、国や県のガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、図書室運営を行った。 6月に名古屋空港・名古屋城北ロータリークラブより絵本100冊の寄贈を受けたことにより、幼児・児童向けの絵本コーナーの充実を図ることができた。 また、第3次子ども読書活動推進計画に基づき、学校との連絡会議の開催、書窓の定期発行を行っている。今後も引き続き、既存の特設コーナーをより充実させる等、貸出冊数を増やすための取り組みを行う。 		

柱4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

芸術・文化活動やライフスタイルに応じたスポーツに親しめる環境づくりを推進する。

◆芸術・文化活動の推進◆

文化振興事業の充実や芸術文化活動の発表の機会や拡充を図る。	総合 評価	S
-------------------------------	----------	---

事業内容 23	芸術・文化活動の推進	評価	S
実施状況	<p>①文化振興事業、お昼のときめきコンサートの充実事業<『まとめ』P33～34参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興事業（2月26日） <li style="padding-left: 20px;">「豊山音楽の日」 <li style="padding-left: 40px;">公演①：豊山中学校吹奏楽部、豊山ウインドオーケストラ <li style="padding-left: 40px;">公演②：名古屋フィルハーモニー交響楽団1部 <li style="padding-left: 40px;">公演③：名古屋フィルハーモニー交響楽団2部 <li style="padding-left: 40px;">入場者 公演①：196人、公演②228人、公演③158人 ・お昼のときめきコンサートの入場者数 <li style="padding-left: 40px;">6月：41人、9月：64人、12月：39人、3月：42人 <p>②芸術・文化団体の支援事業<『まとめ』P34～37></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会加盟団体（25クラブ）の活動 <li style="padding-left: 20px;">14芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・豊謡会など） <li style="padding-left: 20px;">11文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・手芸スクール・豊山俳句クラブ・豊山写真クラブ・絵画クラブ・華道真豊会など） 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化振興事業は、町制施行50周年を記念して「豊山音楽の日」と銘打ち名古屋フィルハーモニー交響楽団、豊山中学校吹奏楽部、豊山ウインドオーケストラがそれぞれ演奏を行った。今後は、令和5年度以降にどのような形で「豊山音楽の日」を続けていくことができるか検討する必要がある。 ○ お昼のときめきコンサートは、全4回、感染対策を講じた上で、アンケートで高い要望があったジャズコンサートやドビュッシー生誕160周年コンサートなど工夫を凝らしながら、町民が気軽に文化・芸術をふれることができる貴重な機会を提供することができた。今後は、入場者アンケートの意見を参考に、マンネリ化しないための新しい試みを実施していく必要がある。 ○ 芸術・文化団体の支援事業は、文化協会に対して社会教育関係団体補助金を交付した。また、補助金の趣旨に基づき適正に執行されるよう指導した。 文化協会においては芸能発表会及び文化ふぉーらむを、新型コロナウイルス対策を講じて開催した。今後も引き続き支援するとともに、事業費補助金として、明確な使途のもと適切に執行されているか検証する必要がある。 		

◆文化財・郷土資料等の保存・活用◆

町の歴史や伝統を伝え、次世代を担う指導者を育てる。	総合 評価	S
---------------------------	----------	---

事業内容 24	文化財・郷土資料の保存・活用	評価	S
実施状況	<p>①文化財の保存・活用事業<『まとめ』P39～40参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催（1回） <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町指定文化財天然記念物「楠」について 令和4年度の文化財保護行政について 令和5年度の文化財保護行政について 生涯学習課の取り組みについて 愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵）の保護・保存 <p>②郷土資料室の再生事業<『まとめ』P40参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展の開催 第1回：豊山今昔写真展 第2回：戦争と平和展 第3回：広報とよやま回顧展 ・住民から寄贈された民具などの郷土資料の収集と適切な保存 		
評価と改善策	<p>○ 文化財の保存・活用事業は、文化財保護審議会を令和5年3月に開催し、令和4年度、5年度の文化財保護に関する取組や町指定文化財の「楠」の現状について現地確認し、委員に意見を求めた。また、「楠」については、令和4年12月に林委員が現地調査を行った。</p> <p>年度末に文化財管理奨励交付金を県指定2件（有形2件）、町指定8件（有形3件、記念物2件、無形3件）に支払う際に、火災や盗難に関する呼びかけを行い、文化財の保存・保護に努めた。今後も、指定文化財の適正な保存管理のため、奨励交付金を継続していく必要がある。</p> <p>○ 郷土資料室の再生事業は、テーマごとに企画展を年3回開催し、積極的な情報発信に努めた。第3回の「広報とよやま回顧展」では、50年以上にわたる「広報とよやま」の変遷をパネルで紹介し、豊山町で起こった出来事や住民生活との関係を振り返った内容で、好評を博した。</p> <p>令和5年度は、「豊山町 今、考える平和2023」と銘打ち、他部署と連携し、町全体で平和について考える展示等を第1回企画展として8月に開催する予定であるが、内容について、前例踏襲とならないよう工夫する必要がある。</p>		

◆スポーツ活動の推進◆

全ての人が、気軽に参加できるスポーツの機会を充実させる。	総合 評価	A
------------------------------	----------	---

事業内容 25	スポーツに関わる機会の創出	評価	A
実施状況	<p>①総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業<『まとめ』P41～45参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児体操教室、ノルディックウォーク教室、スラックライン体験教室、わくわくくらぶなど、子どもからシニア世代まで参加できる講座を開講した。 <p>②指導者の育成支援事業<『まとめ』P48～49参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員定例会の開催 ・国・県・地区関係スポーツ推進委員連絡協議会研修会への参加 ・スポーツ競技全国大会出場者への激励費の支給 		
評価と改善策	<p>○ 総合型地域スポーツ・文化クラブ運営事業は、ミニソフトバレーボール教室・大会やノルディックウォーク教室など受講率の高いものがある一方で、幼児体操教室や子ども運動教室などの参加者が少ないものにあるため、周知等が課題である。広報などを活用し幼児・児童の参加を呼び掛ける必要がある。</p> <p>○ 指導者の育成支援事業は、スポーツ推進委員によるスポーツの実技指導、スポーツ組織育成、生涯スポーツの普及活動、社会体育事業・スポーツ大会への協力活動、研修参加活動等の支援を行った。</p> <p>全国大会で活躍した選手に激励費を支給するとともに、表敬訪問の様子を広報とよやま、町ホームページに掲載し、多くの町民に知ってもらえるよう広報活動に努めた。</p> <p>今後は人材育成・確保について戦略的に取り組む必要がある。</p>		

事業内容 26	スポーツによる町のにぎわいづくり	評価	A
実施状況	<p>①スポーツ大会の開催事業<『まとめ』P50参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第51回町民体育大会の開催【中止】 ・第15回とよやまエアポートビューマラソンの開催 <p>日時 3月5日(日)</p> <p>会場 開会式：神明公園内 航空館boon前駐車場 コース：豊山町 青山地内</p> <p>競技内容 マラソン(2.1km、3km、5km) ジョギング(2.1km)</p> <p>参加人数 511人</p> <p>②愛知駅伝への参加・支援事業<『まとめ』P50参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への参加 <p>愛知駅伝強化対策会議や選手団会議、選手練習会、公式下見会を行った。</p> <p>大会内容</p> <p>日時 1月14日(土) 午後0時30分スタート</p> <p>会場 愛・地球博記念公園</p> <p>参加者 54チーム(市の部38チーム、町村の部16チーム)</p> <p>競技内容 9区間30.6km</p>		

	順位 16町村中 8位 (モリコロ賞受賞) ※昨年度10位
評価と改善策	<p>○ 「第15回とよやまエアポートビューマラソン」を令和5年3月5日に神明公園周辺で開催し、511人が参加した。なお、令和4年10月2日に開催予定であった「第51回町民体育大会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>○ 愛知駅伝への参加・支援事業は、豊山町駅伝チーム強化会議を4回、豊山町選手候補者記録会を2回開催し、その結果等を基に選考された代表選手が、令和5年1月14日に愛・地球博記念公園で開催された「第15回愛知駅伝」に参加した。16町村中8位で、モリコロ賞を獲得した。</p> <p>今後は、選考方法の明確化や、記録会の回数等の見直しが必要である。</p>

事業内容 27	スポーツ施設・環境整備の推進	評価	A
実施状況	<p>①豊山グランド維持管理事業<『まとめ』P56～57参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山グランドの施設設備運営に対する維持管理 ・豊山グランド夜間照明施設の管理指導、社会教育センター休館日における管理指導員の配置 <p>②豊山スカイプール維持管理事業<『まとめ』P57～58参照></p> <p>開場期間：令和4年7月2日～令和4年9月11日</p> <p>入場者数：50,009人</p> <p>③スポーツ施設維持管理事業<『まとめ』P57～58参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ施設（志水テニスコート、ゲートボール場、伊勢山スポーツ広場、志水ふれあい広場、学校体育施設開放事業）の運営に対する維持管理を実施した。 		
評価と改善策	<p>○ 豊山グランド維持管理事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、事業を継続した。</p> <p>老朽化により、扉等の不具合が増えている。体育協会加盟団体など定期的に使用している団体等からの情報提供を依頼し、適切に点検を行い、安全、快適な施設維持に努める。</p> <p>○ 豊山スカイプール維持管理事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、例えばプール内やロッカーの入場制限など対策を講じながら事業を実施した。</p> <p>供用開始から30年以上が経過し、施設・設備ともに老朽化が進行している。これまで施設全体に渡る大規模改修は実施しておらず、老朽化の進行とともに利用者への安全確保が困難になりつつある。</p> <p>○ スポーツ施設維持管理事業は新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、施設の貸出しを継続している。</p> <p>施設設備の経年劣化が見受けられ、志水ふれあい広場に設置している遊具についても故障箇所等が生じている。利用者の安全を図るため、危険箇所の早期発見、早期修繕が必要である。</p>		

第4部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

堀田 裕子	摂南大学 現代社会学部 教授
平手 ゆり子	愛知県教育公務員弘済会 参事

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	令和5年7月31日（月）	14:00～16:00
第2回外部評価委員会	令和5年8月23日（水）	14:00～16:00

1 堀田 裕子 委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況

- 町のホームページ上で全12回の会議録が公開されており、広範囲にわたる事案について長すぎない時間をかけて審議されていることが確認でき、定例会および会議は適切におこなわれている。

2 教育委員会の活動状況

- ここ数年間は、あらゆる行事・会議が、COVID-19の影響で変則的な実施にならざるを得なかった。令和4年度においても学校行事への参加は叶わなかったようであるが、愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会など、必要な会議については対面で実施されており、その点を評価したい。
- 「書面開催」で問題なく実施できていたものについては、今後、無理に対面開催する必要はないと思われる。教育従事者の負担軽減のために、また、これからの時代を見据えると、リモート会議やハイブリッド会議なども活用していくことが望ましいと思われる。

◎ 主要施策と事業についての評価

柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

◆新たな学びへの取組の推進◆

事業内容1 情報教育の推進

- 同町内の小学校において、ほぼ同じ内容の情報モラル教育およびプログラミング教育が実施されていることを評価したい。とくに、プログラミング教育は今後さらに重要なものとして位置づけられていく可能性があるため、アプリの活用などを積極的に進めたい。
- 保護者向けリーフレットを毎年、町で作成し「携帯・スマホ安全教室」で活用している点を高く評価したい。年々あるいは刻一刻と、新しいタイプの迷惑行為や犯罪が現れているため、今後もそうした動向に目を配り、リーフレットの確認、作成、活用を継続していただきたい。
- 北海道せたな町北檜山小学校4年生とのオンライン交流は、令和4年度にはじめて実施さ

れたものであるが、これは情報ツールの持つ本来の可能性を活かす、理想的な活用例であると思う。対面で言えないことを SNS 上で言う、といった情報ツールの使い方も広がるなか、物理的に離れた場所にいる人びとと交流するという情報ツールの使い方を改めて体験してもらうことで、今後、子どもたちが自身の情報ツールの使い方を振り返るきっかけになると考えられ、また、情報ツールを使う素養を身につけることにもつながると考えられる。豊山小や志水小でもぜひ採り入れていただきたい。

事業内容2 外国語教育・国際交流の推進

- 米国グラント郡の学生とのオンライン国際交流の参加者は、公募で集められているとのことであるが、応募者が全員参加できていることを高く評価したい。今後もぜひ中学生全体に積極的に働きかけ、参加を促していただきたい。
- ALT が配置されていない曜日があるという点は前年度から続く課題であるため、授業のさらなる充実を目指すのであれば、この解決を図っていただきたい。それが、オンライン国際交流の参加を促す可能性もあるのではないかとと思われる。

事業内容3 道徳教育の推進

- 地域（学校）支援ボランティアによる交流活動は、開催時期によっては感染症拡大防止の観点から実施できなかつた点が惜まれるものの、今後も、さまざまな知識と経験をお持ちのボランティアとの交流を継続していただきたい。
- 「特別の教科 道徳」の授業改善は毎年度おこなわれているが、令和3年度から継続しておこなわれている「評価方法に関する検討の実施」は、一定の検討結果が出て改善等をおこなったうえで、さらに別の検討が実施されているということか。

事業内容4 教員の資質向上

- 豊山町内のいずれの小中学校においても実施されている、児童・生徒にとって「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践の探究については、高く評価したいとともに、今後もその研究を継続していただきたいと強く思う。生成 AI が日常生活のなかに浸透してくるであろう近い将来を見据えると、今まさに取り組まなければならない重大なテーマである。
- 現職教育の研究成果は、小中学校間で共有されているのか。動画共有などの形で、それが実現されればさらに理想的だと思う。
- 不祥事はいじめと同様に、しばしば子どもの今後の人生に大きな悪影響をもたらす。無いのがあたりまえである、という意識のもと、その根絶に向けて引き続き研修を継続していただきたい。

◆きめ細やかな教育の充実◆

事業内容5 少人数指導、ティームティーチングの推進

- 少人数指導、ティームティーチングのための町採用非常勤講師の数は前年度よりも増加しており、教育の充実がより図られている点では評価したい。だが同時に、非常勤講師として働く教員（とりわけ“専業非常勤”として働く方々）の立場を理解することも強く望まれる。

事業内容6 特別支援教育の推進

- 新たに、豊山中学校に進級指導教室を設置した点は、誰一人取り残さない包括的社会を目指すうえで大変重要な取り組みであり、高く評価できる。

- 特別支援学級に在籍する児童・生徒は、中途診断などによって今後も増加する可能性がある。その都度、そうした児童・生徒に寄り添い、かれらの学びを止めない取り組みを継続していただきたい。

事業内容7 教育相談・生徒指導体制の充実

- 青少年の心理に関する専門家としてのスクールカウンセラーによるミニ研修を実施した点を高く評価したい。教員には、自身が日々おこなう教育内容に関すること以外の知識や技能についての学びを、つねにアップデートさせていく機会が必要である。

事業内容8 健やかな児童生徒の育成

- 食事・運動・歯磨きなどのほか、新栄小がおこなっているような「メディアチェック」（テレビゲームやスマホの利用時間等に関するチェック）は、他の小学校においても、とくに高学年に対して実施すると良いのではないかと思われる。
- 通学路点検のなかでカラー塗装などの要望を受け、町道に関してはすぐに対応しているとのことであり、この点を高く評価したい。

事業内容9 学校体育・スポーツ活動の推進

- 学校体育・スポーツ活動については、豊山町は他の市町と比べても十二分に推進されており、その点はきわめて高く評価したい。ただ、部活動などにおいてこれだけの成果を上げるようになってくると、将来的には、記録主義化やスポーツのプロ化、あるいは広く「スポーツの手段化」などがやや危惧される。健康づくりとしてスポーツをしたい子どもたち、あるいは、単にそのスポーツを楽しみたいという目的を持つ子どもたちのスポーツ活動の機会を奪わないよう、今後も心がけていただきたい。

事業内容10 就学援助の充実

- 経済格差が学力格差につながってはならない。「貧困の連鎖」を断ち切るためにも、就学援助の事業には引き続きご尽力いただきたい。また、就学援助を受けていることが明るみにならないための工夫も継続していただきたい。

柱2 つながれた学校・家庭・地域

◆家庭への支援◆

事業内容11 家庭の教育力向上への支援

- 乳幼児学級事業については参加者が少なく、事業の情報が十分に周知されていない可能性もあるため、乳幼児をもつ保護者が、容易に「情報入手→参加」へと進むことができるようにする工夫が必要だと思われる。
- 家庭教育講演会事業についても「本当に講演を聞いてほしい層」、すなわち子どものいる比較的若い親たちを意識し、開催方法や周知方法などを含め、より参加者を増やす工夫をしていただきたい。

事業内容12 地域の教育力向上への支援

- 令和4年度から「わくわくらぶ」に、新たにバスケットボールと吹奏楽を追加することができた点を高く評価したい。三菱重工名古屋と豊山ウインドオーケストラのご協力を得ることができたのは、町政への理解と信頼の証左であると思われる。その意味では、この評価

は事業そのものへの評価以上に、町政そのものへの評価であると言っても良いだろう。

◆地域の活動の推進◆

事業内容 13 子どもの豊かな心を育む活動支援

- 豊山町は、民間団体の支援と町からの活動費の助成とのタッグが大変うまくいっており、「地域で子どもを見守り、健全な育成を支援する」という本事業の目的を十二分に達成できている。前項目にも書いたが、豊山町だからこそなせる業だと言っても過言ではないだろう。高く評価したい。
- 令和4年度は、成人年齢が18歳に引き下げられたことを受け啓発チラシ入りティッシュを配布し注意喚起をおこなったとのことだが、その効果はどれくらいあるのだろうか。啓発活動をおこなったこと自体は評価したいものの、私見ではあるが、広告媒体としてのティッシュの価値はかつてほど高くないように思う（伝えたい内容にもよる）。今後、別の形での啓発活動も考案していただきたい。

◆地域を生かした教育◆

事業内容 14 地域に開かれた学校経営の推進

- 自己評価および学校関係者評価委員会が開催されているが、できればその中身、すなわち評価の結果及びその後の対応についても知りたい。

事業内容 15 特色ある学校教育の推進

- 豊山中学校で1年生を対象に実施されている体験スポーツ事業の種目を、トレッキングに変更した点は高く評価したい。スキーやスケートの場合は技能に差が出てしまい、みんなでスポーツを「楽しむ」という目的、および、不登校防止というもう一つの目的からすると、より効果的な種目だと思われる。

事業内容 16 地域人材を生かしたキャリア教育

- 職場体験学習および上級学校（高校）訪問については、感染拡大防止の観点から実施できなかった点は大変残念である。キャリア教育は、子どもたちの意識醸成のうえでも継続的におこなっていく必要があると思われる。
- 職場体験学習・進路学習については評価が「B 良いが、見直しをし、改善して継続する。」となっているが、単に感染拡大防止の観点から民間企業に受け入れてもらえなかったということではなく、そもそも本事業のやり方自体を見直し改善するということか。

柱3 学びを支える教育環境

◆安全・安心な学校◆

事業内容 17 学校給食・食育の充実

- 令和2年度からのアレルギー対応、令和3年度からの乳・卵のアレルギー除去食の提供と、給食センターのご尽力により、アレルギーを持つ子どもたちが、学友とともに安心して給食を楽しむことができるようになっており、高く評価したい。

事業内容 18 学習環境の整備拡充

- 衛生と安全に関わる施設・設備の整備については、点検を継続的に進め、必要があれば引き続きスピーディに改修工事をおこなっていただきたい。

- トイレが明るく綺麗であり使いやすいことは、子どもたちの学習環境のなかでも最も大事な要素の一つだと思われる。便器の洋式化やバリアフリー工事への着手はやや遅いような気もするが、一歩進んだことは高く評価したい。新栄小、志水小の方も可能な限り早く改修工事を進めていただきたい。

事業内容 19 教員の働き方改革の推進

- 感染症拡大を機に広まった ICT の活用は、感染症が落ち着いた後においても、業務の短縮や簡便化につながるものはそのまま活用していくべきだと思われる。また、コロナ禍で開催できなかった行事や会議のうち、無くては仕事を回すことができたものについてはそのまま無くしていく、あるいは、リモート会議やメールで実施するという方向で考えても良いものもあるだろう。したがって、スマホアプリを用いた欠席連絡、打合せ・会議の精選などは高く評価したい。

◆充実した学びの場◆

事業内容 20 学ぶ機会の充実

- 「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画」で掲げられている目標指標は、感染症の影響により必ずしも当初の計画通りには指標として機能していないかもしれないが、平成 30 年度からどのように推移しているかも示した方が良いように思う。
- 講座の受講に関しては、健康や趣味といった実用的なテーマに受講生が集まりやすい傾向があるが、それは時代の影響でもあり、必ずしも受講生が集まっていなくても社会的に意義のあるテーマ・講座はある。予算等の都合もあるかもしれないが、受講率がゼロではないものについては、可能な限り継続することをご検討いただきたい。

事業内容 21 社会教育施設の設備・充実

- 社会教育センターおよび学習等併用施設の利用状況が、前年度に比べてかなり増加しコロナ禍前に戻りつつあるため、引き続き安心して安全な施設の維持・管理にご尽力いただきたい。
- 令和 4 年度に記念式典の関係でストップしていた改修工事も、令和 5 年度に入ってから計画通り進められているとのことで、適切に進められていると思われる。

事業内容 22 読書活動の推進

- 令和 3 年度から始まった「豊山町子ども読書活動推進計画（第 3 次）」には、その進捗の目安となる具体的な数値目標は書かれていないが、社会教育センター図書室の会館日数は前年比で 15 日増加したにもかかわらず、貸出冊数が前年比で約 2,200 冊減少している。これは、感染症の影響により前年は図書の貸出が一時的に増えていたからなのか、あるいは、推進事業がうまく進んでいないからなのか。さらにさかのぼったデータがほしい。
- 親子読書会やおはなし会などの参加者数も推移が分からないが、やがて“独”書になる読書の入口としての音読、および他者とともに楽しむ読書の機会は、子どもの読書経験における重要なはじめの一步であるため、今後もより充実したものにしていただきたい。

柱 4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

◆芸術・文化活動の推進◆

事業内容 23 芸術・文化活動の推進

- 町制施行 50 周年記念の「豊山音楽の日」のイベントは、名フィルもお呼びして盛大にお

こなわれたが、この実績を、令和5年度以降の推進をより促す“起爆剤”とするような工夫をぜひしていただきたい。

◆文化財・郷土資料等の保存・活用◆

事業内容 24 文化財・郷土資料の保存・活用

- 町の歴史を後世に伝えるうえで文化財の保護・保存は重要な事業である。と同時に、それを広く町民に周知することも重要な事業である。その意味での文化財の活用にも今後ますます尽力いただきたい。
- 郷土資料室の再生事業としての企画展も、町の歴史のみならず、それぞれの時代における日本社会のあり様を伝える重要な事業である。これまでも工夫を凝らしつつ郷土資料を展示されてきた点を高く評価したい。現代の生活様式などとの比較も興味深いが、現代のものの見方・考え方と当時のそれとの違い（たとえば、ジェンダー意識、子ども・高齢者の立場など）が分かるような展示も、大変意義があると思われる。

◆スポーツ活動の推進◆

事業内容 25 スポーツに関わる機会の創出

- 幼児体操教室の参加者数が非常に低いため、周知の仕方に工夫が必要だと思われる。今後、可能であれば、アプリなどを通じて手軽に情報を入手でき、なおかつ、エントリーもできる仕組みを構築していただきたい。

事業内容 26 スポーツによる町のにぎわいづくり

- 愛知駅伝において16町村中8位と前年度よりも順位を上げており、今後も、スポーツの町として豊山町のアピールにつながれば嬉しいと思う。事業の充実のために、駅伝選手の選考方法の明確化や記録会の回数等の見直しなどをおこない、さまざまな立場にある町民全体に平等に開かれた選考の仕組みを構築していただきたい。

事業内容 27 スポーツ施設・環境整備の推進

- 以前からさまざまな本町の会議でも耳にしているが、子どもたちが自由にボールを使って遊ぶことのできる場所がない、と町民から指摘されている。予約など要らず、気軽に、ボール遊び等ができるような場所が必要である。
- 遊具等の故障については、その部分に近づけないようにしてあったとしても、そこを回避しようと動くことによって別の意味で危険が生じることがある。できるだけ早急に修繕をお願いしたい。

2 平手 ゆり子 委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

1 教育委員会会議の開催と審議状況

- 町ホームページで、教育委員会定例会の会議録を確認したところ、12回の会議のいずれも誠に時宜を得た議案が提出され、審議状況も適切であった。
コロナ禍の終息が見えない中で、町制施行 50 周年記念事業が無事開催されたことと合わせ、スカイプールの利用、給食センターの運営、中学校の制服改定等々、事務局と教育委員の間で活発な意見交換がなされ、各学校とも緊密に連絡を取り合っていた点を高く評価する。

2 教育委員会の活動状況

- 令和4年度も感染拡大予防のため参加を控えた行事もあったが、他地区との会議や研修会に積極的に参加して知見を広めるとともに、教育現場の実情をよく把握し、保護者や児童生徒に寄り添い支援する姿勢から、総合評価はAとしてよい。

◎ 主要施策と事業についての評価

柱1 子どもの意欲を引き出し、夢と志を応援する学校教育

◆新たな学びへの取組の推進◆

事業内容1 情報教育の推進

- 1人1台タブレット配備から2年経過し、全小中学校でICT機器を効果的に活用した授業が増えてきている。使い慣れた分、ネットトラブルが多く発生するのは当然のことで、むしろ、これを情報モラル教育のチャンスと捉えて指導を続けることこそ、児童生徒のためになると考える。プログラミング教育に前向きである点も併せ、S評価でよい。

事業内容2 外国語教育・国際交流の推進

- 全小中学校へのALT配置と全小学校への外国語専科教員の配置により、日常生活の中で自然に会話する機会が多くあることが大変素晴らしい。外国語専科教員とALTが同時に全ての曜日で配置できるよう一層の尽力を期待する。
- 米国グラント郡の学生とのオンライン交流が3回行われ、参加した生徒は大いに感動したであろう。今後、異文化を理解し、積極的な交流を図るこの活動の参加人数や回数を徐々に増やしていったらどうであろう。

事業内容3 道徳教育の推進

- コロナ以前のような交流は未だ制限がある中、各校は地域支援ボランティアとの交流についても、できる範囲で工夫して進められたと推測する。今後とも地域住民との触れ合いを通して豊かな心の育成を図っていただきたい。
- 引き続き「考え議論する道徳」の授業をどの学級でも実践できるよう指導方法の工夫改善を図り、適切な評価の在り方について検討を進めていかれたい。

事業内容4 教員の資質向上

- タブレット端末活用方法検討会や月1度の授業研究など、全校で教員の資質向上に力を入れている。タブレットを思考・表現ツールとして用いることは、若手教員の得意とする技能

かもしれない。また、夏季研究協議会の講師は、パソコン黎明期から機器や情報を使いこなしてきた方であり、全員参加型授業を推進するために大変参考になったであろう。

- どの学校も30代から40代前半の教員の割合は増えてきているが、その分、産育休の代替教員の必要数も増えていると考えられる。ミドルリーダーと若手教員及び会計年度任用教員がともに力量を向上させるために、大いにOJTの手法を活用していただきたい。
- 教員の不祥事がニュースで流れると心が痛む。児童生徒のみならず、本人の人生に関わる一大事であることを教員が常に心していただけるよう、不祥事案とその根絶の方法について、研修会や職員会など、様々な場を利用して話し合っていくことが有効である。

◆きめ細やかな教育の充実◆

事業内容5 少人数指導、ティームティーチングの推進

- 町採用非常勤講師が14名おり、年4回の研修会開催など、他市町よりはるかに充実した施策である。少人数指導や個別指導に力を入れることができ、児童生徒も担任も集中して学習できる環境作りに役立っている。また、将来の教員人材育成にも貢献している。教員志望者の減少が懸念される時勢でもあり、この施策の維持継続は必須である。これはぜひS評価としたいのだが。

事業内容6 特別支援教育の推進

- 障害の事由に応じて、一人でも希望者がいれば支援級を開設できるとされてから、特別支援学級の設置数がどんどん増えている。支援員や通級指導員を適切に配置したり、学校設備を新設したり、個々の状態に手厚く対応している点が素晴らしい。中学校にも通級指導教室を開設した点も高く評価したい。評価としてはSが当然である。
- ただ、西春日井地区に県立の特別支援学校がないので、本当は特別支援学校に行かせたくても遠くてあきらめたり、高等部が遠いために通学時に迷ったり、特別支援学級の担任が障害に応じた効果的な指導方法を気軽に尋ねることができなかつたりなど、不都合な点が生じていないか気にかかる。県への働きかけが必要ではないかと思っている。

事業内容7 教育相談・生徒指導体制の充実

- いじめ報告件数をみると、年々低年齢化が進んでいるようである。これは「自分がいじめだと思ったらいじめである」という認識が広まってきたからと捉え、幼いうちから相談や指導をきめ細かに行うことで「いじめの芽を摘む」ことができる好機だと考えたい。そのためには、低学年では、家庭環境や個性の違いをからかったり、仲間外れにしたりしないこと、高学年からは、SNS等での誹謗中傷は犯罪となることなど、人権教育を早期に進めることが望ましい。
- 適応指導教室では、集団活動になじめない児童生徒が進んで通える場所になるように様々な活動を企画し、効果を上げていると聞く。さらに家から出にくい状態の児童生徒とオンライン交流するなど、今後も創意工夫を生かして活動されたい。
- スクールソーシャルワーカーが、保護者と児童に信頼され、学校や行政、関係機関とうまく連携している姿を実際に見聞きした。スクールカウンセラーも良い方を配置していただき、効果を上げていると聞く。虐待や性被害、LGBTQなどの問題が社会的に大きく取り上げられている昨今、悩みを抱える児童生徒が心を開き、安心して暮らせるよう、今後も町を挙げての支援を継続・強化していただきたい。

事業内容8 健やかな児童生徒の育成

- 各校で学校保健学習、安全点検が年間計画に基づき適切に実施されている。さらに「フッ化物洗口」「全国歯みがき大会」への参加など、新しい取り組みもあり、児童生徒の健全育成が一層図られている。

事業内容9 学校体育・スポーツ活動の推進

- コロナ禍で中止となっていた水泳指導は再開できたが、今後は熱波による気温・水温の上昇による事故が心配される。また、プールの老朽化により、学校別に維持管理していくのも限界があるように思う。長期的に見て、町で1つ温水プールを作り、夏季だけでなく、年間を通して、水の安全を重視した指導を行えるようにし、運営を民間に委託して、水泳指導のないときは、町民が利用するといった方向が望ましいと考える。
- 「部活動ガイドライン」の策定以後、県全体で、やり過ぎた部活動に歯止めがかかった。教員の多忙化解消のためだけではなく、過度な競争主義から脱却し、外部指導者の拡充を図りながら、児童生徒の意欲を喚起し、豊山中の生徒が各大会で良い結果が得られたことを喜ばしく思う。
- 本町独自の中学1年生の体験スポーツ事業は、実施計画の見直しを図ったことでより安全に実施できた。今後もこの方向で継続していただきたい。

事業内容10 就学援助の充実

- 従来、本町は行政の住民支援が手厚く、外国籍の児童生徒への支援も充実している。新入学学用品費の前渡し支給についても、大変有難い制度となっている。コロナ離職等で全国的に貧困家庭の増加が懸念される中、引き続き親身で細やかな相談活動を通して、就学困窮者を救っていただきたい。

柱2 つながれた学校・家庭・地域

◆家庭への支援◆

事業内容11 家庭の教育力向上への支援

- 乳幼児学級については、改善策にあるように、周知方法を検討するとよい。若い方たちはLINEなどをよく利用しているので、ぜひ使ってほしい。また、より参加意欲が湧くように、おやつやおもちゃ、育児用品などのプレゼントを付けてみてはどうか。
- 家庭教育講演会もそうだが、親の教育とか学習となると、敬遠する方たちは多い。また、必要は感じて、子どもを家に残し、親だけで参加することに抵抗のある方も多い。入学説明会や学校公開日等に親子で一緒に学べる形式にしてみてもどうか。

事業内容12 地域の教育力向上への支援

- 総合型スポーツ・文化クラブ（わくわくくらぶ）は、参加料が無料である教室がほとんどで、親子で楽しめる教室も多くある。名称変更を含め、2つの新種目が追加されるなど、小学校の部活動に代わる活動場所として期待できる。とりわけ、三菱重工バスケットボールチームと豊山ウインドオーケストラの協力を得られた点を高く評価する。今後も地域の指導者の力を活用して一層の充実を図りたい。

◆地域の活動の推進◆

事業内容 13 子どもの豊かな心を育む活動支援

- 長い歴史のあるスポーツ少年団の活動が健在であるどころか、野球に至っては、部員が70名もあり、サッカーと共に地域に大変愛されているスポーツであると実感した。練習や試合だけでなく、関市上之保地区スポーツ少年団との交流や美化運動への参加が計画されている点が素晴らしい。今後も活動費の助成をぜひ継続していただきたい。
- 青少年生活指導事業における巡回指導については、改善策にあるように、大規模店舗より、子どもたちが普段よく利用している児童公園やコンビニエンスストアをメインにする方が効果的であるとする。

◆地域を生かした教育◆

事業内容 14 地域に開かれた学校経営の推進

- 学校評価委員会の活動も定着してきており、学校経営の改善に役立っている。また、委員の意見を早速採り入れ、保護者を講師としたキャリア教育に生かしたことは素晴らしい。
- また、通学路交通安全プログラムによる通学路点検や不審者対応など日々の見守り活動が確実に機能しているからこそ、事件・事故が未然に防がれていると言える。毎年適時実施されたい。

事業内容 15 特色ある学校教育の推進

- 前年度に続き、航空産業や町の食文化・伝統芸能などを知る地域学習が思うように実施できなかった学校も多かったであろう。世の中の状況が落ち着いたら是非再開されたい。

事業内容 16 地域人材を生かしたキャリア教育

- 各校ともこれまで、地域講師を活用した授業や、学校行事を様々に工夫してきたが、感染拡大防止のため実施できなかったことは致し方ない。また、中学校の職場体験学習や上級学校訪問ができなかったことも残念である。オンライン等での学習形態を取り入れるのも一案かと考える。

柱3 学びを支える教育環境

◆安全・安心な学校◆

事業内容 17 学校給食・食育の充実

- 令和3年度からの食物アレルギー対応の除去食の提供については、誤食事故を防ぐために関係者が細心の注意を払っており、安全に進められていると聞き、大変有難いと思う。今後さらに、栄養教諭による食育の中で、バランスの良い食品の取り方だけでなく、食物アレルギーの話を加えていただければ、食べてはいけない食品のある児童生徒が引け目を感じずに済むようになるのではないかと考える。

事業内容 18 学習環境の整備拡充

- 中学校の改築整備に係る「目指すべき中学校の在り方」についての最終まとめを拝読した。生徒の思いに応えるべく広く明るい教室や体育館の冷暖房設備は必須である。町民への開放場所は体育館と付随した会議室（談話室）、運動場が妥当であろう。図書室は、社会教育センターを利用してもらえばよいと思う。今後具体的な建築案が作られるであろうが、大規模な災害が起きてもライフラインが確保できるよう最新設備を導入されたい。

- 豊山小学校の悲願ともいえるべき、全トイレの改修が叶い、誠に嬉しい。和式トイレは、足元に汚物が飛散することがあり、胃腸炎などの感染症が流行する時期には、特に衛生上好ましくない。また世間では、男子トイレの個室を増やしてほしいとの要望も出始めたと聞く。今後他校でも改修が進められるが、参考にされたい。この項目に関してはスペシャルSであると評価したい。

事業内容 19 教員の働き方改革の推進

- 教員採用試験の倍率がかなり低くなっており、このままでは、優秀な教員の確保ができない程の危機的状況である。学校単位でできる会議の精選などは既に頭打ちになっているところ、校務支援システムの充実、欠席連絡用のスマホアプリの導入、勤務開始時間の見直し、部活動の見直しなど、教育委員会が率先して、教職員が働きやすい職場づくりを行っている点を高く評価する。

◆充実した学びの場◆

事業内容 20 学ぶ機会の充実

- 町民の学習ニーズに対応した講座が適切に提供されている。豊寿大学や親子・子ども向け講座、趣味・教養講座など多岐にわたるテーマで開催されており、参加者の満足度は高いものであったと推測する。「生きがいタウン」は大変見やすくわかりやすい。「部活動の地域移行」を速やかに進めるためにも、引き続き、生涯学習審議会での意見を大事にして、充実した講座を企画されたい。

事業内容 21 社会教育施設の設備・充実

- この項目は、前年度より評価が下がっているが、町制施行 50 周年記念事業等への配慮から改修工事を一時中断したことによるものだと分かり、納得した。利用件数は増えており、生涯学習の拠点としての役割は十分果たせている。今後も計画に沿って、維持管理に努められたい。

事業内容 22 読書活動の推進

- 感染症対策を適切に行い、昨年度中止せざるを得なかった読み聞かせやお話し会が開催できた点が良い。読書人口が減っている今、乳幼児期から本に親しむ機会を一層充実させていくことは大切である。今後とも貸し出し冊数を増やすべく工夫されたい。

柱 4 生活を豊かにする芸術・文化・スポーツ

◆芸術・文化活動の推進◆

事業内容 23 芸術・文化活動の推進

- 音学好きな方も多い町民にとって「豊山音楽の日」の公演は、大変喜ばれたであろう。改善策にあるように今後どう続けていくかが課題である。名古屋の宗次ホールに出演しているような若手音楽家に演奏してもらうのも良いかもしれない。(知名度は低いかもしれないが)
- 芸術・文化団体に所属する方の高齢化はどの地区でも懸念されているが、文化協会に新しい団体が所属しやすくなるよう、広報で呼びかけるなどし、引き続き手厚く助成されたい。

◆文化財・郷土資料等の保存・活用◆

事業内容 24 文化財・郷土資料の保存・活用

- 町指定文化財の「楠」が危ないと知り、非常に残念に思うが、時の流れにはあらがえない。有形無形を問わず、豊山町の歴史となる物事については、写真や動画をデジタル資料として残し、適切に管理保管されたい。
- 郷土資料室での企画展示は、出来栄えが素晴らしく、担当者の創意工夫と熱意が感じられるものであった。今後も大いに楽しみにしている。

◆スポーツ活動の推進◆

事業内容 25 スポーツに関わる機会の創出

- 「総合型地域スポーツ・文化クラブ」のスポーツ講座は、町民の健康の維持・増進に大きく寄与している。また、多世代参加型の企画は、町民のふれあいの場としても重要であり、今後も安全を確保して運営していくよう期待する。
- 指導者の育成は、健全な競技運営に欠かせない。子どもへの指導には、留意点多々あるので、国や県、各競技団体の主催する研修会に参加への支援はこれまで通り行うとともに町独自の指導者研修会を開いても良いかと考える。
- スポーツ競技会全国大会への出場者には、今後も奨励費の支給をお願いしたい。

事業内容 26 スポーツによる町のにぎわいづくり

- 町民体育大会は中止となったが、愛知駅伝、エアポートビューマラソンが開催できて本当に良かったと思う。愛知駅伝に関してはジブリパーク開園の都合で1月となってしまったが、受験生のことを考えるとさすがに苦しい。開催時期に関しては県に意見を申し立ててほしい。

事業内容 27 スポーツ施設・環境整備の推進

- 豊山グランドや豊山スカイプールは、町民にとって思い入れの深い、親しみのある施設である。とりわけスカイプールの人気が高く、入場制限が必要なくらいであったと聞く。しかしながら、老朽化が進んでいるようで、利用者の安全・安心を考えると心配である。町民の楽しみを奪わないようにするためには、何か、代替施設を建設するのが望ましいのだが…。今後の在り方について、慎重に審議を進められたい。